

I 研究主題

**児童・生徒の自主性を引き出す授業づくり**

～小・中学校の学びの系統性を意識した授業デザイン・コーディネートを通して～

II 主題設定の理由

加賀市学校教育ビジョン「BE THE PLAYER」では、「常識や前提にとらわれず、ゼロからイチを生み出す力」「問題発見力」「課題解決力」「革新性」の育成を目指している。

このビジョンを踏まえた昨年度の学校研究によって、小学校では、児童が自分の考えを友達に伝えたり、友達の意見を聞いたりしながら、積極的に授業に取り組む様子が見られた。しかし、教科のねらいを確実に達成するための教師の授業構想力、課題設定力、授業中の見取りや関わり方については、課題が残った。

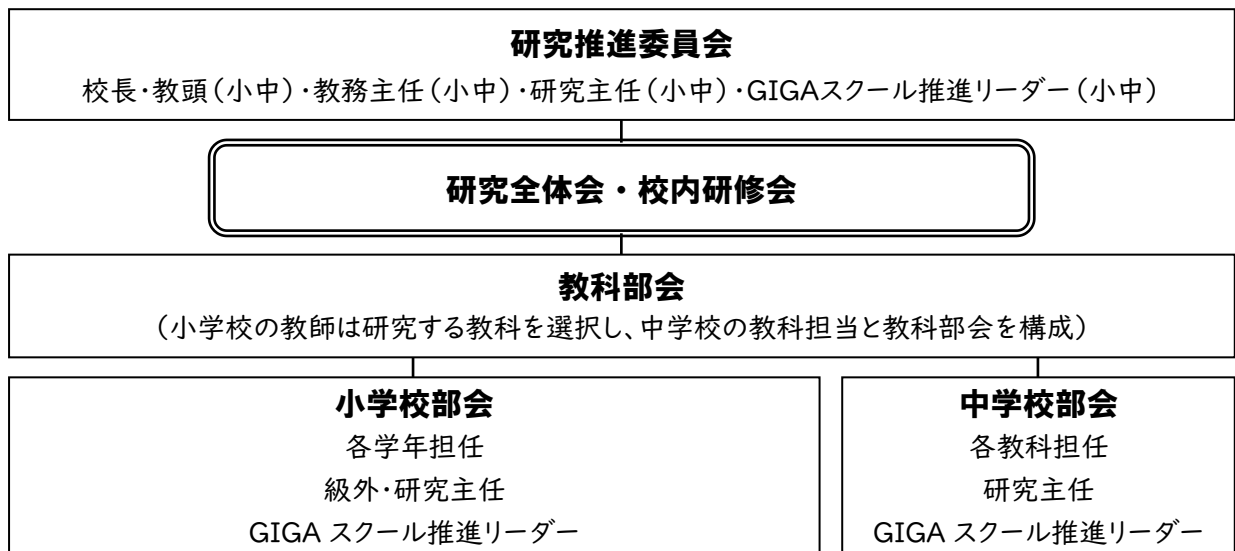
中学校では、教師から与えられた課題のもと、生徒が自分の考えを持ち学習を進め、友達との話し合いで考えが深まったり、理解が深まったりしている様子が見られた。しかし、生徒自らが課題を設定し、道筋を立てて追究することを意識した教師の単元構想に課題が残った。

また、橋立小学校・中学校は来年度から義務教育学校となる。このことに向けて、9年間の学びの系統性を意識した授業づくりやカリキュラム編成に取り組む必要があり、自立した学び手の育成をするための教師の関わり方を含めて重点としたい。

そこで今年度の学校研究の主題を『児童・生徒の自主性を引き出す授業づくり ～小・中学校の学びの系統性を意識した授業デザイン・コーディネートを通して～』とした。この研究主題を追究していくことで、教師側の小中9年間の学びを意識した授業デザイン力と授業コーディネート力が高められると考える。小・中学校の教師が連携して単元構想を工夫することで、教科のねらいを達成し、児童・生徒が自らの課題を追究するための時間を確保する。このような授業改善の結果、他者と協働しながら計画的に粘り強く学ぶ自主性のある児童・生徒が育成されると考える。

この取り組みをさらに強固なものとするために、昨年度の「リーディングDXスクール」及び「ICT活用指導力強化事業」の継続として、教科のねらいを達成するための教師の見取りや児童・生徒に委ねる学びをサポートするために、GIGAスクール推進リーダーと連携してICTの利活用をさらに進める。

III 研究の組織図



## IV 研究の内容（具体的な研究活動）

学校研究を通して目指す児童・生徒像

- ・単元の見通しを持ち、計画的に課題に取り組むことができる児童・生徒
- ・自らの考えを持ち、粘り強く課題について追究することができる児童・生徒
- ・自ら課題を見つけ、他者と協働し課題解決に取り組める児童・生徒

### (1) 委員会や部会の活動内容

①研究推進委員会 … 研究主題の設定、研修計画の策定、学校研究の成果と課題の検討

教師、児童・生徒アンケートの作成、「BE THE PLAYER PLAN」の作成など

②研究全体会・校内研修会 … 学校研究内容の全体共有、効果的なICTの活用事例や授業実践事例の交流、要請訪問など

③教科部会 … 小学校と中学校の学習内容を踏まえたカリキュラムマネジメント、単元構想・評価規準に関する相談、相互授業参観、など

### (2) 「児童・生徒の自主性を引き出す授業づくり」に向けて

①教科のねらいを達成するための教師の授業デザイン力

・小中学校の学びの系統性をふまえた「単元構想シート」を作成する。

→児童・生徒が学びたくなるような導入、課題設定、学習内容、時数配分などについて小学校と中学校の教師で相談する。

→小学校と中学校の両方の視点から教科のねらいを明確にする。

・GIGAスクール推進リーダーを中心とした、ICT活用のための研修

②自立した学び手を育てるための教師の授業コーディネート力

・本校では児童・生徒に委ねる授業を「自己選択（何を学ぶか・何で学ぶか・誰と学ぶか）」「自己決定」「自己調整（学びの計画性）」の場がある授業と定義し、適切な場面で取り入れる。

・児童・生徒が多様な意見に触れることを通して、考えを広げ深める時間を拡充する。

③小中相互の授業参観・実践交流

・「授業デザイン力」と「授業コーディネート力」の視点から授業を参観したり、実践を交流したりすることで授業改善につなげる。

④学習指導と生徒指導の一体化

・生徒指導の4つの視点を意識した授業づくりを行うことで、主体的・対話的で深い学びを促すより良い学習環境を作る。

## V 研究成果の検証方法

・教師アンケートを年4回（5月・7月・12月・2月）実施し、授業改善についての成果と課題をつかむ。

項目例 『単元構想シートを活用し、授業のデザイン力を高めることができたか』

『授業の中に児童生徒が「自己選択」「自己決定」「自己調整」をする場面を設定したか』

『生徒指導の4つの視点を意識した授業づくりができたか』

・児童生徒アンケートを年4回（5月・7月・12月・2月）実施し、目指す児童・生徒像に近づけたかを検証する。

項目例 『授業中、課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組むことができましたか』

『課題を追究する際に、最後まで粘り強く取り組むことができましたか』

『友達の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組みましたか』

## VI 研究の全体構想図

